



2学期後半 学びの深まりを目指して

～夢と目標の違い 具体的な目標を定めて努力しよう～

10月31日には文化祭が行われ、舞台の部では吹奏楽部の演奏に手拍子で盛り上がり、続く2年生学習発表・3年生学年劇「五中アラジン」と素晴らしいステージが繰り広げられました。また、展示の部においても1・2年生ともに関西万博への校外学習を発展させ、世界中のさまざまな国々についての調べ学習の成果を掲示、その他にもペープサート動画やその国に特徴的な文化・衣服や建築物等を粘土で制作するなど工夫を凝らしたものでした。また、美術の作品や各文化部の展示もありました。1年生から2年生、そして最高学年の3年生へと学年が上がるにつれて学びが深まり、段階を踏んでひとり一人が伸びていくこと、そして学年としても一段と大きく成長していると実感しました。

五中がめざす生徒像は「自ら考えて行動する生徒」、さらに

- ① 仲間も自分も大事にする生徒
- ② やりきることを大切にする生徒
- ③ ことばを大切にする生徒 を大切にしています。

やらされているのではなく、自分自身で考えて進めていける力、自分と仲間を大切にする姿勢、考えや思いを言語のみならず、様々な手段で伝える力を、今後も多くの場面で発揮していったほしいと願っています。

1学期末に生徒の意識アンケートを実施しました。結果は昨年度の同時期のアンケート結果と比較すると25項目のほとんどで数値がアップしていました。中でも「将来の夢や目標を持っている」8%↑、「自分にはよいところがある」15.7%↑、「人の役に立っていると感じる」20.5%↑、「地域や社会をよくするために何かしたい」18.7%↑などが大きく伸び、自己肯定感やポジティブな考えを持てる人が増えていることがわかります。

アメリカ野球殿堂入りを果たしたイチロー氏の表彰式典での有名なスピーチを紹介します。「子どものころからの夢はプロ野球選手でした。もし、今の経験をもって直せるなら、『夢』という言葉の代わりに『目標』という言葉を使います。“夢”はかならずしも現実的とは限らないが、“目標”はそれをどう達成するかを

深く考えれば実現可能になるからです。」「夢を見るのは楽しいが、目標に向かうのは困難で挑戦が伴います。本気で何かを成し遂げたいなら、それを達成するために必要なことを考える必要があります。」と……。

長い2学期も後半がスタートし、今後の学びの深まりを目指す手立てとして、三者懇談は現時点での自分を見つめる良い機会。だと思います。3年生は進路を見据えて、具体的な目標を立てた努力と挑戦に踏み出していく時期です。頑張りましょう。

文化祭

秋の恒例行事である文化祭が盛大に開催されました。舞台発表のトップを飾ったのは吹奏楽部による演奏です。息の合った演奏と迫力あるサウンドで会場を魅了し、観客から大きな拍手が送られました。吹奏楽部の演奏を皮切りに、生徒たちは日ごろの練習の成果を存分に発揮し、舞台に立つ緊張感と達成感を味わいながら発表に臨みました。

続いて行われた2年生の学習発表では、「世界の国々」をテーマに、各クラスが様々な国について調べたことをまとめて発表しました。文化や生活、食べ物などの特徴を映像やスライドを用いてわかりやすく紹介し、学習内容を深く理解するとともに、発表方法にも工夫を凝らしました。生徒たちの探究心や表現力が伝わる発表で、観客の関心を引き付ける内容となりました。

文化祭の最後を飾ったのは、3年生による学年劇「アラジン」です。迫力ある演技やダンス、そしてユーモアあふれる演出で観客を引き込み、会場は笑顔と感動に包まれました。3年生はクラス一丸となって舞台を作り上げ、練習の成果を余すところなく発揮しました。その姿は、下級生にとっても憧れと目標となる素晴らしいものでした。

展示の部では、1年生と2年生が世界中のさまざまな国々について調べた学習の成果を掲示しました。国の特徴的な文化や衣服、建築物などを粘土で制作するなど、創

意あふれる展示が並び、まるで大阪万博のようにぎわいでした。また、美術作品の展示や、家庭科部・自然科学部が制作した作品も展示され、来場者は生徒たちの多彩な表現力や創作意欲に触れることができました。

生徒一人ひとりが自分の役割を果たし、仲間とともに創り上げた文化祭。舞台発表と展示の両方を通して、努力や協力の大切さを実感し、互いの成長を称え合う、心温まる時間となりました。



生徒会役員選挙

後期の生徒会役員選挙が実施され、立候補者は自分の公約や目標を堂々と発表しました。

新たに役員に選ばれた皆さん、これからの第五中委員会活動の中心となって活躍してください。みんなが皆さんの力を信じ、期待しています。仲間と協力しながら前向きに取り組んでください。皆さんの活躍が、学校をより楽しく、よりよい場所にしてくれることを楽しみにしています。

また、前期役員の皆さんには、これまでの活動に感謝するとともに、皆さんが示してくれた姿勢を胸に、後期の役員もそれぞれの力を発揮しながら活動に取り組んでくれるでしょう。

車いすダンス(人権講演会)

2年生を対象に、ジェネシスオブエンターテイメントの方々を招き、車いすダンスを通じた人権講演会を実施しました。生徒たちは、車いすで踊るパフォーマンスを間近で見ながら、障がいを持つ人々の日常や思いについて学びました。

講演では、体験談や実演を交えながら、相手の立場に立って考えることの大切さや、思いやりの心を持つことの重要性についてお話がありました。生徒たちは、普段触れることの少ない視点を知り、障がい理解を深める貴重な時間となりました。

また、車いすダンスの迫力ある演技に触れることで、身体の制約を超えて表現する力やチームワークの大切さも感じ取ることができました。生徒たちは、自分たちにできることは何かを考え、日常の学校生活や地域での行動に生かす決意を新たにしました。